

# J A M 政策NEWS

2004年10月29日 第2005-11号

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

03-3451-2586

E-MAIL : [syakai@jam-union.or.jp](mailto:syakai@jam-union.or.jp)

## 第3回「社会保障のあり方に関する懇談会」開催 年金一元化と介護保険について議論

10月21日(木) 第3回「社会保障に関する懇談会」が首相官邸で開催され、「年金一元化」と介護保険制度改革について論議が行われました。冒頭、懇談会の座長に、宮島洋委員(早稲田大学教授、社会保障審議会委員、税調委員)を選任。その後、年金一元化の問題について、民間委員から出された意見書について事務局からの説明があり、さらに、委員から追加意見が出されました。

基礎年金については、税方式(連合、日本経団連)と保険方式(その他委員)に意見が分かれています。所得比例年金の一元化についての民間委員の意見は、自営業者の所得補足の強化などの条件整備と被用者年金の一元化を段階的に進めるべきとの方向で概ね一致しています。

また、介護保険制度改革については、来年(施行5年後)の制度改革と社会保障全体の一体的見直しとの関係などについて議論されました。なお、主な発言内容は、次の通りです。

### 「年金一元化」問題について

【笹森委員】直近の国会議論でも、小泉総理が、労使が求めた「保険料15%以内」を念頭に、2009年までに結論を出すべきと発言しており、一元化を社会保障全体の一体改革として実現することを再度確認しておきたい。一元化は段階的に進めることが現実在即しており、合わせて条件整備(納税者番号制度など)が不可欠である。厚生年金と共済年金との一元化の際には、国会議員年金も含めるべき。

【細田官房長官】国会でも与野党で共通認識をもって、しっかりと議論してもらいたい。民主党には笹森委員からも是非、お願いしてもらいたい。

【杉田委員】社会保障と福祉(公費負担)とをはっきりと分けて考えるべき。社会保障(年金など)は、自分で保険料を負担することが基本である。保険料負担が難しいから、税負担ということではない。

【宮島座長】ヨーロッパでは、「ワークフェア」(就労支援を基本とした福祉施策)と「ベーシック・インカム」(一律の現金給付)という考え方があり、ヨーロッパでは、両者を調和させる方向で議論がされている。一元化については、12月の論点整理の時にあらためて時間をとって議論したい。「一致している点と、財源問題で違いがある」旨を記者に説明する。

### 介護保険制度改革について

【石委員】介護の「社会化」の意味を問い直すべき。介護の主体は個人責任であり、家庭などがしっかりやらないと持続可能でなくなる。1割自己負担では少ない。また、若年障害者は税金でやるべき。

【笹森委員】国民の将来不安は、全体の在り方が不透明な中で個々の制度の保険料が上げられることによる。介護保険の見直しは必要であるが、財源問題については、一体的な見直しとしてやるべき。連合は、基本的に「被保険者・給付対象者」の範囲を拡大すべきと考えている。

【潮谷委員】来年の介護保険制度の見直しは、待ったなしの課題。自助・共助・公助により重層的に社会を支えていくことが基本認識。予防重視型への転換と痴呆の高齢者ケア重視は、積極的に進めるべき。また、年齢、疾病や障害の種別を問わず、介護を必要とする人を国民全体で支えるユニバーサルな仕組みに変えるべき。財政問題からも、来年の制度見直しは必要である。

【杉田委員】一体改革の必要性はわかるが、社会保障の一体改革の全貌がはっきりしない。介護保険で全てをカバーすることはできない。施設介護の居住費は自己負担とし、年金と介護給付とのダブル給付は調整すべき。本人負担も2割を。介護保険を若年層に広げると制度が「国民障害保険」に変質してしまう。また、保険料の未納問題も生じ第2の国民年金になりかねない。拡大については慎重に検討すべき。

【西室委員】来年制度を見直し、もう一度全体改革に合わせて改革をすることを盛り込めば、潮谷意見と笹森意見とは矛盾しない。予防重視は正しいが、手厚いケアは制限すべき。

以上のような議論を受け、谷垣財務大臣は「制度改革の速やかな実現が国民の信頼を得る。17年度予算編成に間に合わせるべき」、竹中財政担当大臣は「12月に出す経済成長見通しなどとも関連させながら、中期的な視点から検証したい」などと述べました。

介護保険については、全体改革との関係や自己負担の問題などについて、次回(11/18)も引き続き議論することとなりました。

配布資料は、下記の首相官邸のホームページを参照。  
首相官邸 > 政策会議等一覧 > 社会保障の在り方に関する懇談会 > 開催状況 > 第3回議事

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/syakaihosyou/dai3/3gijisidai.html>